

# 桐鈴凛々

第 87 号  
平成 25 年 1 月 15 日 発行  
発行責任者  
社会福祉法人 桐鈴会  
理事長 黒岩 秩子  
南魚沼市浦佐 5142-1  
電話 025-780-4118  
FAX 025-777-3731  
e-mail  
suzukake@rose.ocn.ne.jp  
http://www17.ocn.ne.jp/~tourei/

## 桐鈴会の理念

・終のすみかを目指す  
・「迷惑をかけ合える関係」を目指す  
↳ 高齢者、しょうがいしゃ、子どもたちが  
安心して住める地域を創ろう！

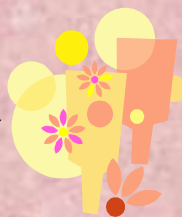


## 工房とんとん

今春 3 月に大きな産声

となりの「おひさま」(仮称)にも小さな芽が！

桐鈴会理事長 黒岩 秩子



あけましておめでとございます。

皆様にとっては、昨年の選挙結果はどのようなものだったでしょうか？私は、1ヶ月間息子の選挙で、新発田に行っていました、桐鈴会の皆さんには大変申し訳ない想いでした。しかもその結果がご存知の通りでしたので、残念を通り越しています。私がいけない間に、桐の花では、開設以来 8 年間を入居者として過ごしてきた関キミさん(享年

94 歳)が、老衰で亡くなりました。お悔やみ申し上げます。

「工房とんとん」の上棟式が 11 月 27 日に行われ、みぞれ降る寒い中、子ども園の子どもたちや、近所の方々など餅拾いにおいでいただきました。7 升もの餅を撒いたので、皆さん満足していただけたようでした。たった 10 日間留守にしながら、けなののに、とんとんの工事が進んでいてびっくりでした。雪が降る前に外回りは終わらせると

いうことでしたが、いつになく早くに雪が積もってしまったので、工事の方々には、過酷な事になってしまったようです。

### ・ケアホーム「おひさま」

(仮称)も補正予算で

県の方からビッグニュースが飛びこんできました。とんとんの隣に建てることにしていたケアホーム「おひさま」も国の補正予算で、助成金が下りることになりそうというのです。重度の方 3 名、軽度の方 4 名が暮らすホームです。ここに入って隣のとんとんに通いたいといっていた方が、8 月ごろに竣工となることで、喜ばれることでしょう。早速そのような方に連絡を入れます。自立支援法の趣旨として、「夜寝るところと、昼間過ごす場所は離れていなくては

いけない」ということがあるのですが、雪が積もってしまったら、離れているところに通うのは大変、ということを理解していただいで、冬だけ渡り廊下でつながるようになっています。

雪国では、消雪パイプが必要なので、そのための井戸を掘ることが必要になります。ところが、国の基準では、井戸を掘る費用には助成金が出ません。それはおかしいということで、南魚沼市に申し入れに行きました。新潟県の中でも消雪パイプが必要な地域は、限られています。でも確実に雪国ではそれだけ余計に経費が掛かるのです。だから、一つは、市からの助成金をお願いし、もう一つは、県のほうにそのことを申し入れてほしい、という要望書を 9 月に市に提出しました。そうしたら、

市はそのことに理解を示してくれ、なにがしかの助成金を出し、県にもその旨申し入れる、という回答が来しました。深く感謝しています。

・とんとの職員は既に決まり

とんとんができたなら「そこでボランティアとしてお手伝いをする」と言ってくださっている鈴懸入居者の方がおられたり、評議員からも何人かの方がボラを申し出てくださっています。

そんな皆さんのご厚意が合わさって、今年4月には、とんとんがオープン運びとなります。

とんとんとって必要な職員はすでに決まっています。どこにも募集をかけていないのに、関係者が声をかけて探してきて、面接をして内定を出してあるのです。その中の一人、看護師山之内さんは、11月・12月と長岡療育園に週1回研修に通ってくれ、1月・2月は、療育園のサテライト、小出の「ケアステーション魚沼」に研修に通います。これは、重度の障がい者子どもを持つ評議員の井口さんから提案によるものでした。

喫茶店の調理を担当する予定の中川さんは、パン担当の山本さんと一緒に喫茶店のメニューを考えたり、食器選びをしたりと準備を手伝ってくれています。また調理師として内定している中村さんは山本さんのパン勉強会にも参加してくれています。これまで1年間かけて試作を続けてきたパンの中からどれが店に出せるか検討中です。3月には職員全員に様々な研修を受けようつもりです。

・工房とんとん説明会

左記の要領で、工房とんとんの説明会をします。



◆日時 1月24日(木)

13:30

◆場所 夢草堂

利用を希望する方は、その時に参加して申込書を出してください。重度の方々への「生活介護」は、南魚沼市で初めてできる事業です。養護学校を卒業した重度の方々には、昼間過ごせる場所がなくて、不便を強いられるのでしたのではないのでしょうか。就労

支援B型は、すでにいくつかありますが、旧大和地域では、初めてできる事業です。今までなかったために、区域外の施設に通っている方がたくさんおられるようです。

2月中には完成します。3月には、パンの試食会を始め様々なイベントを開催します。2月末には、企画が出そろいますので、お問い合わせください。

・正職員募集

○グループホーム桐の花  
介護員 1名

○おはようヘルプ  
(ヘルパーステーション)  
訪問介護員1名  
\*どちらも介護福祉士の資格を持っている方。

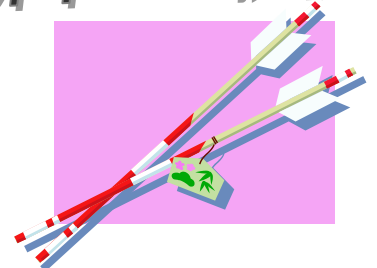
問い合わせ先  
ケアハウス鈴懸  
電話 025(780)

4118  
(担当 林)



グループホームひまわり

# 新年のご挨拶







ケアハウス 鈴懸

**新年明けましておめでとうございます**  
本年もどうぞよろしくお願いたします



新潟県南魚沼市浦佐5142の1  
桐鈴会（入居者・役職員一同）



グループホーム 桐の花



## スプリンクラー設置と

### 「とんとん」上棟式

ケアハウス鈴懸

施設長 林 幸英

## ○ケアハウス鈴懸に スプリンクラー設備を設置

12月4日に入札が行われ、新潟市の総合防災商社(株)西川商會が落札いたしました。

ケアハウス鈴懸は、消防法令上、スプリンクラー設備の設置義務はありませんが入居者の高齢化等に伴い、万が一の予防を行い安心して暮らしていくために、県の補助事業を受けて自主的にスプリンクラー設備を設置することにいたしました。(補助事業名・平成24年度介護基盤緊急整備臨時特例補助金―既存施設のスプリンクラー整備特別対策事業)

通常のスプリンクラーは「水の放射」による消火をイメージされることと思うのですが、ケアハウス鈴懸では「水」によら

ない無害の「防火薬液」を放射して消火する設備を採用いたしました。いわゆるパッケージ型消火設備「スプリネックス消火システム」です。

この消火システムは、スプリンクラー設備(水)と同等以上の防火安全性能を、建物や人に負担をかけずに実現できる新たな消火システムです。

ケアハウス鈴懸では、次の6項目の条件から本システムの導入を決めさせていただきました。

- ① 工費がスプリンクラー設備(水)より比較的安価である。
- ② 効果がスプリンクラーと同等以上である。
- ③ 事故(火災)発生時、防火薬液放射による二次災害が少なく再燃防止効果が優れている。
- ④ 工事がしやすく短期間で良く、入居者への負担が少ない。
- ⑤ 人体への安全性に問題がない(鑑定により実証済み)
- ⑥ 全国的に普及が拡大している。

(H13・8～H24・2 実績  
1142施設)

隣接の長野県では、H15・3～H24・3現在61件の実績

があり、長野市では積極的に支援している。ちなみに、新潟県に於いては、H16・2～H22・3までの実績が4件となっております。

現在、工事が急ピッチで進められており、居室への配管が行われています。

2月下旬には工事が完了する予定です。万が一の火災については、ひとまず安心です。

## ○「とんとん」上棟式



弱小企業なりに盛大に行われた。

11月27日、工房「とんとん」の上棟式が行われました。

10月11日の地鎮祭から約1ヶ月半、業者さんの頑張りです。

棟式を厳粛と笑いの中で、質素かつ盛大に行うことができました。これも一重に、障がい者の日中活動施設の建設にご理解とご支援ご協力を賜りました皆様、そして地域の皆様のおかげと感謝し、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

当日は、みぞれ模様のあいにくの天気でしたが、浦佐認定子ども園の年長組の園児約40名が餅拾いに来てくれて上棟式を盛り上げてくれました。これもありがたいです。餅撒きが始まったら、腰をかがめ下を向きっぱなしで拾う姿は、上から眺めていて、ホントに微笑ましい限りでした。餅撒きに一般の人たちの参加が少なかった分、こどもたちの分け前が多くなったのは、これまた天の恵みなのか。子ども達は満足そうでした。大人も子ども達に劣らず、童心になって拾いまくっています。

子どもたちの熱気で寒さなど何処へやらホントに和やかなひと時を満喫した上棟式でありました。めでたしめでたし。

## 一人暮らしを始めて

山内 俊博

私は今から16年前の平成8年に交通事故で首の骨を骨折し、手足の全く利かない重度障がい者になりました。その時20歳、大学生でした。その後、長期の入院生活を経て、魚沼市の実家で家族とヘルパーの介助を受けながらこれまで生活してきましたが、今年の7月に、親元を離れ新潟市のマンションで念願の一人暮らしを始めました。

しかし、こうした人達と出会い、「大丈夫、自立できるよ」と励ましてもらったことで、自分もいつか自立したい、自分の人生を自分らしく生きたいと強く思うようになっていったんです。ただ、そうは言っても、人の介助がなければ何一つできない自分です。本当に自立なんて出来るんだらうか不安だけが強くなにか失敗するたびに自信をなくし、介助してくれる家族の存在にも甘えてばかりで、なかなか家を出る勇気が持てず、結局ここまでくるのに10年近くかかってしまいました。しかしどんな状況の時でも、障がい者の先輩たちが支え励ましてくれたおかげで、「このまま怖がっていては何も始まらない」と、ようやく家を出る決心がつき、障がい当事者団体の協力も得ながら1年前から部屋探しを始め、昨年ついに自立生活を始めることができました。

そうして始まった自立生活、これまでの生活とは違い、何を食べるか、何時に寝て何時に起きるか、お金を何に使うか、どんな制度を使うか、全て自分で決められます。夜遊びに出かけても自由です。「なんて楽しい生活なんだろう」と言いたいところですが、その生活は決して甘いものではありませんでした。自分で全て決められるということは、言い換えれば、自分がどうしたいか決めなければ何も始まらないわけだし、間違った決定をして失敗をすれば全て自分の責任として返ってきます。また、常にヘルパーがいるという生活は想像以上にストレスで、体調を崩すことも何度もありました。救急車で運ばれることもありました。



しかし、そんな大変なことの連続でも、それ以上に自分の人生を主体的に決められる喜び、実感は何物にも代え難いものでした。

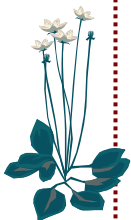
自立生活を始めてもうすぐ半年ですが、これから仕事も遊びも、これまで障がい理由にして、自分で勝手に諦めていたことにもどんどん挑戦していきたいと思えますし、どんどん失敗しながら自分の生活を確立していければと思っています。そして、これまで多くの障がい者の先輩から支えてもらったように、これからは私自身が障がい者の立場で、同じように悩んでいる障がい者を支援ができるようになればと思っています。

最後になりますが、これまで私を支えてくれた皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

### 〈編集部注〉

山内さんは昨年5月まで、おはようヘルプを利用していた方で、自立支援法の利用者でした。

ヘルパーを「教育」してくださってありがとうございます。



訃報

「関 キミさんを偲んで」  
グループホーム桐の花

ヘルパー 柳 婦美子



ありし日の関キミさん  
「お嫁さんと一緒」



ラが名古屋は日本のおへそだよ。ヨイヤガサツサ」と楽しそうに唄ってくれましたネ。

「ワレは親から、メメロウチヨウだと言われていました」と話が始まる：。「メメロウチヨウ」って何処の方言？めめ（見た目）が悪いとの言葉とか。そんなことはありません。笑顔がとっても素敵でしたよ！

又、名言も残してくれたキミさん。食欲がない時は「箸が嫌がっています」髪を洗いたくない時は「頭が嫌がっています」とユニークな名言で周りを笑わせてくれました。そしてそんな時、いつも「すみません。ありがとうございます」と感謝の言葉をかけてくれました。

（ありがとうございました）

昔から働き者のキミさん、眠っている夢の中でも家事や畑仕事をされていたのか、目を覚まされると、「ちよっとすいません。そこらに炭は置いてないですか？」ある時は「今何時頃ですか？そろそろご飯を炊こうと思いますか」「大根の種まきをしなくては」また夕方頃になると「はて、そろそろ帰ってみよ

うか」と心配されることが多々ありました。

入居当時は元気で体力もありキビキビと動かれ、畑の畝はまっすぐに作られていたとか。又草取りも一生懸命されていました。しかし時が過ぎ、体調を崩されたり回復されたり繰り返しが続き、最後は眠るようになり立たれました。生前「親に会いたいな」と言われていたことが、ご両親にお会いになられませんでしたか？ゆつくり休まれてください。大好きだったキミさん。



(クリスマス会)

思い出に残るクリスマス会

ケアハウス鈴懸

入居者 井上信吉

時の流れは早いもので、私たちがケアハウス鈴懸に入居してから約半年が過ぎました。その間、色々な催し物に参加させてもらい、ご馳走になったり楽しませてもらったりで、ありがとうございました。

クリスマスが近づいたある日、職員さんから「サンタさんになってくれ」と言われて驚き、そんな大役はとても駄目だと断りましたが、新入居者は他の皆さんもやってきたことなのだというわれ引き受けることにしました。パーティーの当日職員さんの手助けでようやく着付けが終わり



北欧から？やってきた、Inoue サンタ。プレゼントにみんなが大喜び。

り、大きくて重い袋を肩にかつぎ会場に行くとき盛大な拍手に迎えられました。すっかり舞い上がりが無我夢中でなんとか入居者の皆さんにプレゼントを配り終わって、ほっとしたことを昨日のこのように覚えていきます。こんな貴重な体験をさせていただき、人生の一つの思い出としていつまでも心に残して生きて行きたいと思えます。本当にありがとうございました。





「サンルームお茶のみ音楽隊」の皆さんの熱唱。ケアハウス鈴懸クリスマスパーティー（12/23）にて。

## クリスマス会

（桐の花&ひまわり）  
ブループホーム桐の花  
ヘルパー 小林登美子

桐の花では12月23日「ひまわり」からのお客様4名を迎え、クリスマス会を行いました。皆でジングルベルの歌を歌う中、サンタクロースからのプレゼントをもらいました。

ケーキを食べながら若い頃のことや出身地の話などに花が咲きました。中でも「長岡空襲の時、俺は18歳だった。空が真っ赤に染まっていた」と、涙ぐむ中島豊一さん（デイサービス利用者）の話は印象的でした。

また、当時東京で呉服店を営んでおられた大塚悦子さんは、

自分の身体に着物を巻き、上から服で隠して売りに行き米と交換し、その米も見つからないよう服の中に隠して戻ってきたこと、夫が出征し一人で留守を守り大変だったことなど話してくださり、うなずく人もおられました。

その他「昭和39年東京オリピックが開催された年にテレビが普及し始めた。白黒テレビが先でカラーテレビになったのは大分たってからだ。テレビのある家に紅白歌合戦を見に行ったものだ。今の子どもに話したつてわからねえ」との言葉に他の方々もうなずくことしきりでした。

このように、思わぬ話に花が咲き、気づいた頃にはそろそろあたりがうつすらと暗くなりかかっていました。皆でこんなに話し込んだのは最近では珍しく、何とはなしに充実し満足感の漂うひと時でした。

休みになるとボランティアに来てくださるひまわりのお二人に、この日はサンタクロースにまで扮していただき、感謝感謝のクリスマス会でした。

## 入居者からの投稿

「息子の友人」  
ケアハウス鈴懸  
入居者 鈴木トシ

若くして夫を亡くし、6歳の幼い息子を連れて生まれ育った南魚沼に帰ってきた。職を見つけた家を建て二人の生活が始まった。息子も何とか人並みに育ち、

東京の大学に入りたと言うので、私の友達に頼み宿を探して頂いた。4階建ての素晴らしいコーポ。音大生も入居されているので全室防音装置付き。ピアノを弾いても隣には聞こえないし、管理人ご夫婦もコーポの入口に居られるので安心だった。

4年目の6月、風邪をこじらせて熱を出し5日間ほど学校を休んだ。その時横浜に住んでいる友人の白井君が「おかゆ」をリュックに入れて何日か届けてくれたとか。枕元に電話があるのに私には知らせず、白井君のお世話になったことを後で知った。「おかゆ」は白井君のお母様が作られたのだが、どんなに助かったことか。

卒業と同時に故郷に帰って来

てくれて父親と同じ教員職についた。職場は大変だが楽しいと、口説き話を聞いたことは一度もなかった。また一番の思い出は、若いのに頼まれ仲人をしたことだった。しかし病気には勝てず、46歳の時にこの世を去ったのは残念でならない。

息子の友人白井君は毎年色々なものを私や孫達にも送ってくれる。去年は他の友人と二人でこの鈴懸に来てくれた。「てじまや」さんに泊まり夕食を共にし、奥さんが選ばれたという洋服2枚とお小遣いまで頂いた。

また上越の小嶋君も命日には必ず電話をくれて声を聞かせてくれる。やはり鈴懸にも来てくれた。息子が亡くなって10年になるのにいまだに私を心配してくれる息子の友人達。

人生は誰に出会うかによって決まるといふ。友情ほど素晴らしい報酬をもたらすものは滅多にないと聞いたことがあるが、良い友人に恵まれ短い人生だったが幸せだったなあーと感じている。

このことは息子が私に残してくれた宝物の一つでもある。



## 職員の異動

「退職しました」

(前) 厨房調理員

八木 秀之



長い間お世話になりました。入社したての頃は、皆様にご迷惑をかけたことを覚えています。

以前、秋山（編集注・片桐現栄養士の前任者）さんが抜けた穴を埋めるために、質を落とさずいかに入居者に喜んでいただけるか、それを考え尽力してきました。

最近になり、ようやく皆様のお口に合うものが提供できるよくなりました。ここまで成長できていました。ここまで成長できたのは入居者の方々のおかげだと思っています。私の作る食事を、長い間召し上がってください。本当にありがとうございます。

寒くなってきましたので、体調など崩さぬよう、気をつけていつまでもお元気で過ごされることをお祈りいたします。

望むところがあって12月末で桐鈴会を退職いたしました。12年余りの長い間、本当にありがとうございました。



「退職のごあいさつ」  
(前) 厨房調理員  
羽賀則子

13年前、鈴懸開設と同時に調理員として勤め、泊まり仕事を兼ねた勤務でした。

当初から私の拙い料理にも、皆さんから美味しいと言っていた。天国に召されて行った方、今なお元気で過ごされている方、一人一人にいろんな思い出があります。

私も13年前兄を、7年前母を送り、そして今新しい家族も増えました。いろんな人に支えられ、いろんな事も経験しました。最後は入居者の「おいしかったよ」の言葉が私の背中を押してしてくれたことはありがたかったです。おかげさまで13年間という歳月を送れたことだと感謝感謝です。街で会ったら声をか

けていただけたら幸いです。本当にありがとうございます。



厨房栄養士

(調理師)  
小林めぐみ



1月から厨房にて勤めさせていただくことになりました。小林めぐみといいます。

これまでずっと調理の仕事をして来ました。私がこの仕事に就いたきっかけは、自分自身食べるのが大好きということがありました。おいしい物を食べている時、人は自然と笑顔になります。入居者の方々にもそんな笑顔を届けられるよう頑張っていきたいと思えます。

まだまだ分からないことだらけですが、皆様に色々と教えていただきながら、一日も早く慣れていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

## 編集後記

本格的な冬を迎えています。「春よ来い、早く来い」と今から待つ私です。

今春施設がまた一つ増え、夢の実現に向けてあと一歩です。秋、寒風吹きすさぶ中工事は進められ外観は完成したものの、12月初旬、予想外の大雪で根雪となり建物はすっぽり覆われてしまいました。暮れに見学した際は部屋ごとに区切られまだ板張りでした。12月末の進捗率は40%で、2月完成とのことでした。夜遅くまで明かりがともり、今も工事は急ピッチで進められています。関係者の皆様ありがとうございます。

入居者の方々が楽しみにされていることがあります。(勿論職員も)それはパンです。材料に加えて愛情をたっぷり練りこんだ美味しいパンが焼きあがることと思えます。

さて今年の干支は巳ですが、金運アップと言われています。我が家の神棚に置いてある宝くじが一枚でも当たりますように、八百万の神様どうかよろしくお願い致します。(小沢俊子)

